

武雄市行政改革プランの主な成果〔平成25年度〕

本市では、平成28年度以降には合併支援措置が縮小・廃止されるなど収支状況の悪化が懸念されることから、平成23年に第2次行政改革プランを策定しました。平成25年度についても、前年度に引き続き、様々な取り組みを実施しました。

行政サービスの最適化

事業の「選択」と「集中」



武雄市図書館の運営委託

- ◆武雄市図書館を指定管理者へ委託し、開館時間の延長、365日開館を実現しました。25年度中は23年度比3.6倍の約92万人にご来場いただき、26年5月には100万人を突破しました。
- ◆事務事業の見直しとして、武雄保育所の民営化の手続きを行いました。

組織と人

組織改革



「庁舎対策課」の新設

- ◆庁舎対策室を「庁舎対策課」へ格上げし、庁舎建設に向けて組織強化を図りました。

定数管理



職員数 5名減

- ◆職員数を削減するなど人件費を抑制しました。 約3,700万円削減

財政基盤の強化

歳出の抑制



約4,600万円の効果

- ◆武雄保育所の民営化による効果 約4,600万円削減

自主財源の確保



約5,500万円の効果

- ◆滞納整理強化により徴収率が0.3%UPしました。 約1,000万円の増収
- ◆遊休資産（土地・建物）を売却しました。 約4,400万円の増収

公営企業・特別会計等の経営健全化



約9億7,700万円の効果

- ◆上水道事業：佐賀西部広域水道からの受水抑制など、約3,600万円の削減
滞納整理による収入の確保等、約2,200万円の増収
- ◆工業用水道事業：契約水量の増等、約300万円の増収
- ◆土地開発公社：土地の処分等、約9億500万円の増収
- ◆競輪事業：サテライトの包括委託による経費削減など、約1,000万円の削減